

横浜市立あざみ野中学校
令和7年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「自主・自律」	課題発見・解決能力 言語活動・コミュニケーション能力 自分づくりに関する能力

(2) 中期取組目標

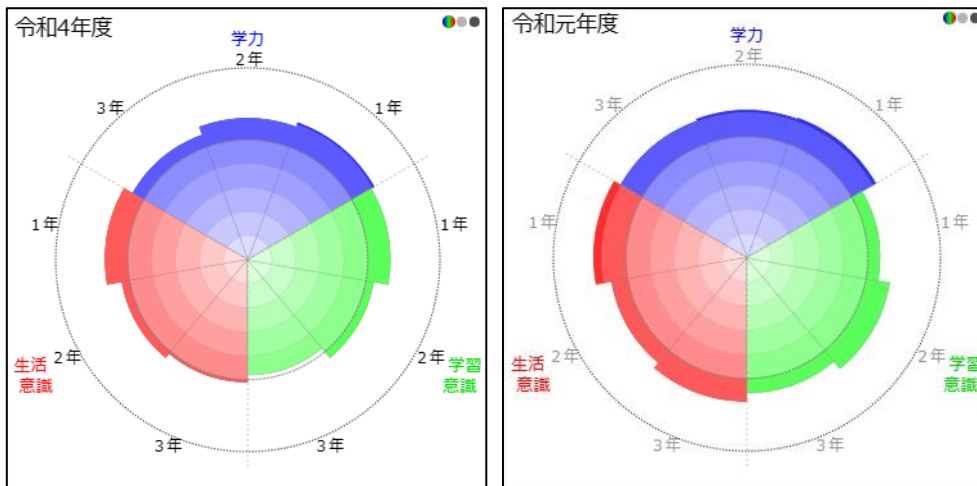
中期取組目標	
<p>○「チームあざみ野」として全職員で「共有」「共感」「協働」を合言葉に「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒を理解し、認め、励まし、一人ひとりを伸ばす教育を行います。 ・主体的・対話的で深い学びに通じる指導を充実するとともに、「分かる授業」「魅力ある授業」を実践します。 ・自己肯定感を高め、お互いに認め合う人間関係、思いやりのある心を育てます。 ・地域とのコミュニケーションを通して、信頼関係を深めていきます。 	

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
学習指導		①指導主事を招請して指導と評価の一体化成を目指した研修を行い、育成を目指す資質・能力を明確にした校内授業研を実施し、子どもが主体的に学習に取り組む授業を目指す。 ②年1回、生徒による授業評価を実施し、集計結果を基に教科会などで共有し授業改善を行う。
担当	学習指導部 教務・研修係	

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

○学力の概要と要因の分析



令和元年度（コロナ前）と令和4年度で比べると、「学力」、「学習意識」、「生活意識」のすべてにおいて低下している。要因として、緊急事態宣言での学校休校や分散登校などで、学習の機会が少なくなってしまうことが意識などの低下につながっているのではないかと考えられる。ICT 機器を使った配信授業も行ったが、それが学力向上につながったとは言えない。やはり、教室での対面授業を中心とし、教師と生徒、生徒同士が意見を言い合える環境作りが必要だと感じた。

3 令和7年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	自分の考えを的確に表現する能力	グループ活動や話し合い活動を積極的に取り入れる。	
社会	様々な社会事象に対して、ものごとを多角的・多面的にとらえ、資料をもとに適切な判断をし、それを表現できる能力 人権・平和・主権在民といった日本国憲法の理念をふまえ、現代社会の課題を理解し、改善するための思考や行動力	資料をもとに、意見交換する機会を設ける。課題により、学びあいを支援する。グループワークなど様々な方法で、たがいの考え方に触れる機会をつくる。社会の当事者として考えられるような資料を提示し、常に「なぜか?」という問題意識を喚起する。	
数学	持っている知識や情報を活用する能力	発表の機会を増やし他の生徒の考えに触れ、考え方の幅を広げさせる。グループ活動、発表の機会を設ける。	
理科	主体的に観察・実験をし、結果等を自ら考察できる能力	グループでの話し合い活動を通して、お互いの考えを引き出し、考察を深め、発表する機会を設ける。	
音楽	他者と協働して、音楽活動を楽しみながら取り組む能力 様々な音楽に触れ、その音楽に対する自らの思いや意図を表現する能力	他者と考えを共有する機会を増やし、小さな「できた」「わかった」を引き出していく。もともと持っている知識や技能を、鑑賞活動へつなげられる機会を設ける。	
美術	題材に対して自ら課題を設定し、主体的に計画的に表現活動・鑑賞活動に取り組む力 自他の作品を尊重しあい、メッセージ感じ取ったり、伝えあったりできる能力	毎時間のねらいの設定、自己評価カード（自己の課題設定と次回への構想）、生徒同士の相互鑑賞活動、鑑賞だけの時間の設定、ICT機器の活用	
保健	自らの行動を通して、周囲の状況を見て様々なことを予測する力（危険を察知する能力を高める）。 自分に合った課題を設定し、自ら考え行動し、解決する力。 個に応じた学習の取り組み。	生徒同士がお互いにアドバイスしたり、評価ができる場面の設定。 学習カードは単元計画や毎時間の目標、振り返りができるものを活用し、見通しが立てて振り返りができるようにし、なるべくコメントを添えて返せるようにする。 ICTの活用。	
技・家	自立と共生を目指し、生活の中の問題に向き合っ て課題を見つけ、解決する力	生活を工夫する力を育てることやコミュニケーション力を高めるために友人と協力するような実習を取り入れる。	
外国語	英語という言葉を通して、世界に目を向けるよ うな視野を持ち、積極的にコミュニケーションを 取ることができる能力	様々な教材を通し世界の文化に触れ、日本との違いに気づき興味を持って意欲的に英語を学ぶ雰囲気作りをする。AET や周りの生徒との実際のコミュニケーションの中で、学んだ事柄を場面や状況に合わせて使えるような学習を進めていく。	
道徳	人として望ましい生き方についての理解を深 め、自他の生命を尊重できる生徒	道徳の授業や体験活動を通して自他の生命や人権の尊重、規律ある生活、自己の将来、さまりの意義などの理解を深める。自己肯定感を高めお互いに認め合う人間関係と思いやりの心を育てる。	
特活	他者と協働し、合意形成を図ってよりよい集 団作りをする能力	リーダーを中心とした話し合い活動を充実させ、主体的に課題解決を図る。	
総合	3年間を見通し、計画的に指導することで、好 ましい職業観を身に付けるとともに自己の「生 き方」について考えることができるようにする。	キャリア教育、平和学習、等を軸に、探究的な学習に取り組ませる中で、課題発見・解決能力の育成を目指し、学び方やものの考え方を身につけさせる指導を行う。さらに多面的に自己の生き方を考えることが出来るように、教科のわくをこえた総合的な学習も取り入れる。	
個別級	日常生活の自立を図るため、実践的な学習活 動を通して生きる力	教員や保護者に向けての調理実習を計画し、実践力を高めていく。	